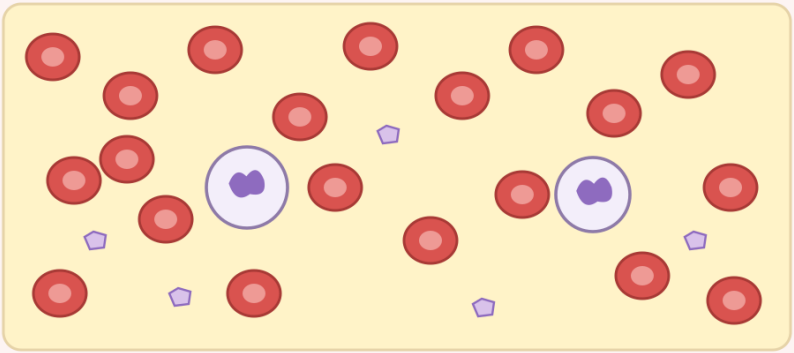
血液の成分と組織液のはたらき

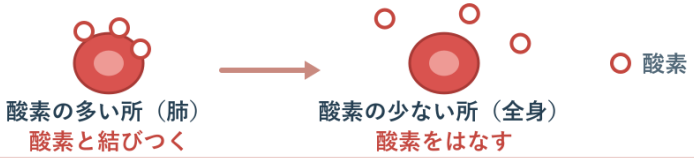
血液の中の何が酸素や養分を運ぶのか。毛細血管から細胞へ、物質はどう渡されるか

血液の成分（けんび鏡で拡大したようす）

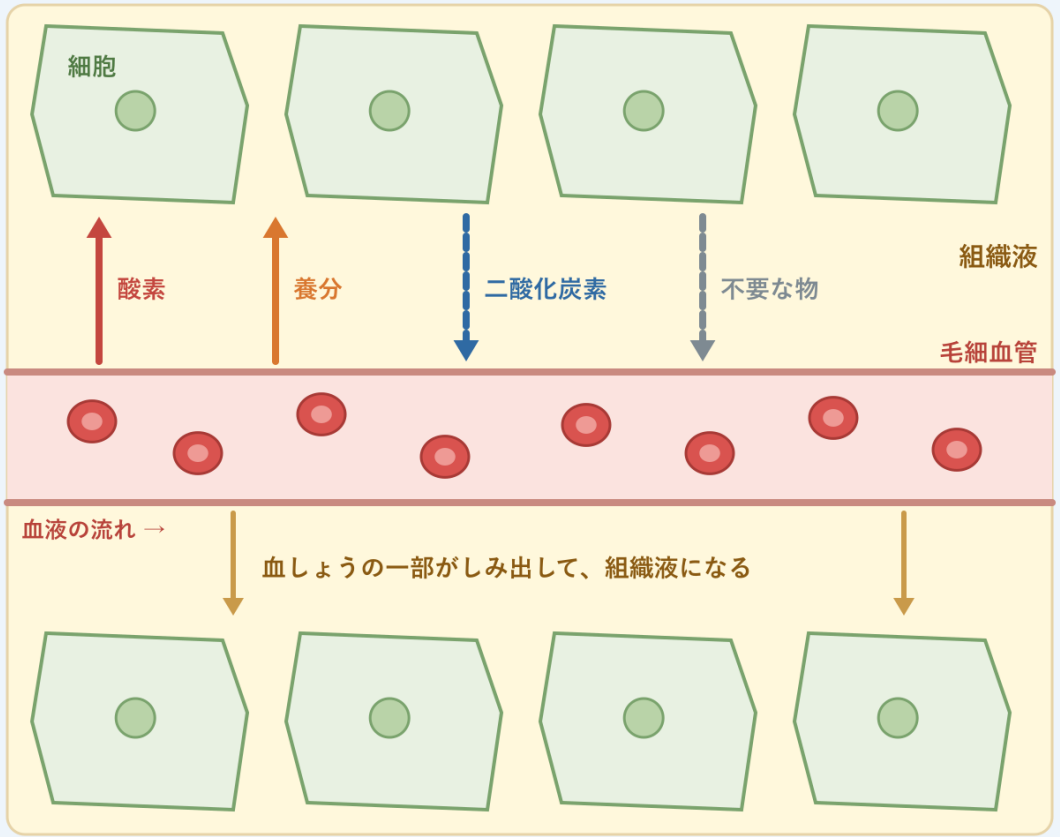


赤血球	酸素を運ぶ。数がいちばん多い。
白血球	体に入った細菌などをとらえる。
血小板	出血したとき、血液を固める。
血しょう	液体。養分・二酸化炭素・不要な物を運ぶ。

赤血球と酸素（赤血球の中のヘモグロビン）



毛細血管と細胞の間（拡大した断面）



組織液は、細胞のまわりを満たし、血液と細胞の間で物質を受けわたす仲立ちをする。酸素・養分（実線）は細胞へ、二酸化炭素・不要な物（点線）は血液へ移る。

※ 模式図。血液の成分の形・大きさ・数、細胞の形は分かりやすくしたもの。左と右の縮尺はちがう。